



2023春 第1回・2回 アマチュア無線体験運用【総括】

2023年4月8日
JJ1YVV
八王子市アマチュア無線クラブ

目次

I	体験運用実施の目的	P 3
II	参加イベント概要・実績	P 4
III	運用詳細	
1.	アマチュア無線 体験運用	P 5
2.	FMラジオ工作体験	P 18
IV	体験運用 役割分担	P 20
V	総括／体験運用改善点・今後の課題	P 21
VI	資料	
・	参加者分析	P 22
・	ファイルデータ集	P 24
・	会場づくり	P 25
・	体験運用制度	P 26
・	八王子友好賞規約見直し	P 27
VII	その他	P 28

●当クラブの発展と将来の技術者育成の一助として

アマチュア無線は、無線を使ったコミュニケーションと技術探求の趣味として、子どもからシニア世代まで幅広い方が楽しむことができるものであり、また、無線通信技術の中でも一番身近に触れることができることから、入門レベルのIoTやワイヤレス技術の知見を「体感的に」身につけることができるものと言われています。

今後、ますます電波の重要性が高まっていく中、アマチュア無線を活用したワイヤレス人材育成の裾野を広げるため、アマチュア無線を「ゆりかご」に、電波の楽しさ・大切さ・使う責任を学び、協調性や感覚的に電波の伝わり方を身につけた青少年が、将来グローバルに活躍する技術者・研究者へと育っていくことを期待されています。【総務省総合通信基盤局電波部移動通信課「ワイヤレス人材のためのアマチュア無線の活用等に係る制度改正①」を参照・抜粋】

八王子市アマチュア無線クラブ（以下、八王子市AMC）では、青少年が私たちがアマチュア無線で初めて交信したときの感動を共有し、地域の人や無線通信によるコミュニケーション、無線の不思議で奥深い体験から、将来の電気電子技術者・研究者を目指す一助となること、また当クラブの発展を目的に「体験運用」の制度趣旨に沿った取り組みに賛同し参加、協力するものです。

●本資料を活用

この資料は、2023年3月22日に告示された直後の週末に、アマチュア無線体験運用を行った際の手順をまとめたものです。告示直後で情報が少ない中、手探りで2回の体験運用を行いました。この体験運用の取り組みをドキュメント化し、八王子市AMCのマニュアルとして、また今後の改善を容易にするため作成しました。

同時に、体験運用をどのように制度趣旨に沿って対応すべきか悩みを抱えているクラブ局や団体に対しても本資料をネット等で公開することで少しでも役立てられること、互いの体験運用の改善に期待して作成しました。

Ⅱ 参加イベント概要・実績

当クラブが参加した一般の方を対象としたイベントに参加、その実績

イベント名	はちおうでいフェス	花見の会
日時/天候	2023年3月25日(土) 10:00-16:00 雨	2023年4月1日(土)10:00~15:00 晴れ
場所	東京都 八王子市 片倉つどいの森公園	
主催	サイバーシルクロード八王子 八王子商工会議所	西片倉町会
来場者イメージ	アウトドア活動・キャンプ好き層	ファミリー層
体験運用者数	7名	14名 6才~59才
ラジオ工作体験数	5名 (予定数5)	11名 (予定数11) 8才~47才
参加メンバー数	10名	9名 ※ラジオ制作にクラブ外メンバー1名参加

はちおうでいフェス パンフレット

このフェスは初めての企画
あいにくの雨でしたが実行されました



花見の会 パンフレット

地元町内会の恒例イベント
(コロナ禍から今年復活)



Ⅲ 運用詳細 体験運用

1. アマチュア無線 体験運用

1-(1) 目指すこと

- ・ はじめて無線交信したときの感動を体験してもらうこと
- ・ 地域の人や無線交信を通じたコミュニケーションの楽しさを体験すること
- ・ 通信体験や無線の実験を通して、無線通信の不思議さ、面白さ、すごさを知ってもらうこと
- ・ 電波利用にルールがあることを知ってもらうこと
- ・ 体験運用によって達成感を持ち、次にチャレンジする気持ちを醸成すること
- ・ 将来のアマチュア無線人材となってもらうこと

1-(2) 体験運用流れ

安易な無線交信体験だけで終わることが無いよう、体験運用の楽しさ、無線技術の面白さが短時間で理解できる工夫を行う。

<全体の流れ> 約20分

受付 → オリエンテーション* → 交信練習 → 体験運用 → 交信証手交

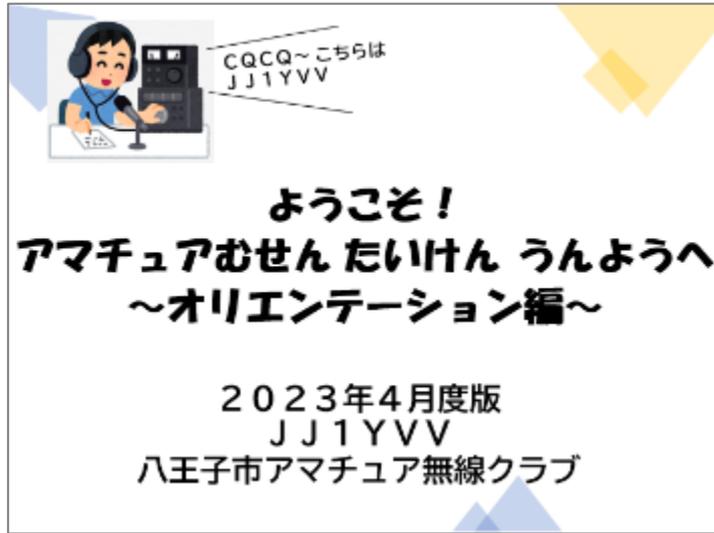
*オリエンテーションでは電波の使われ方、電波の交信実験、交信練習を行います

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

パワポ資料の解説

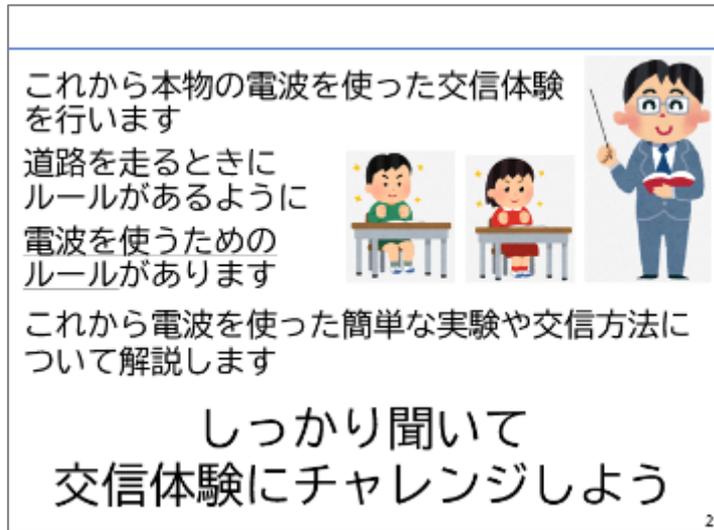
P 1



アイスブレイク
子供たちの緊張を和らげる会話から入ります。

- ・ 工作体験してきたの? どのところが楽しかった?
- ・ さっきは電波の受信だけど、今度は電波を発信するんだよ
- ・ おじさんの名前は〇〇です。きみたちは何年生?
- ・ へえ、今日から6年生か。新学期は
など

P 2



電波を使うためにはルールがあることを伝えます。

でも難しい話だけじゃないことを知ってもらうため簡単な電波実験もあることを伝えます。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P 3

無線（むせん）ってなに??

**ぜんぶのものに きょうつう
すること なーんだ?**

- ・スマートフォン
- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・WiFi
- ・ドローン
- ・Suica



3

簡単なクイズをだします。
身近にあるものについてちょっと考えて
もらいます。
交通系 IC カードも入っています。

P 4

無線（むせん）ってなに??

**ぜんぶ
電波（でんぱ）を
つかっているよ**



4

簡単ですね。
ぜんぶ「電波」を使っています。
でも一体電波ってなんだろうって疑問が
湧いてきます。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P 5

無線（むせん）ってなに??

電波【でんぱ】

でんきを スゴイ スピードで
オン・オフ くりかえすと
そこから
でんぱが とびだしてくるんだ!

オン
オフ
オン
オフ



5

実は、電波ってとっても簡単に作れちゃうことを、電球のオンオフでイメージしてもらいます。

でも、電波っていったい何だよってなりません。

P 6

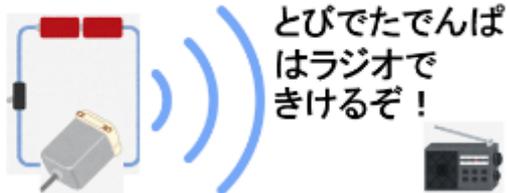
無線（むせん）ってなに??

でんぱのじっけん

モーターをまわすとコイルにでんきの
きょうじゃくが うまれるんだ
だから でんきを オン・オフしたのと
おなじげんしょうが おこるよ

モーターをまわ
すと...

でんぱが とび
でてるんだ



6

そこで実際に「電波」を出す実験をしてもらいます。

仕組みはカンタン。マブチモーターを回して出てくるノイズをAMラジオで受信する実験です。

マブチモーターは「ミニ四駆」で使っている普通のモーターだってことも伝えるとイメージが湧きます。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P7

無線（むせん）ってなに??

でんぱで きもちをつたえる

はい — (びー)

いいえ ・ ・ (びいびい)

モールス
しんごう
みたいだね



きもちをつたえる
=
しんごうをおくる



7



100円均プラケースに収めた簡単実験装置

運びやすく、どこでも簡単に展示することができます

電鍵をたたくとAMラジオから「ビー」って音がでてきます。

実験装置から線がつながっていないラジオから突然「ビー」と音がすると、結構驚きます。なんとなく電波がイメージできてきます。

でもこれだけでは面白くないのもう一つ実験をします。

講師役から質問をして、子供にYES, NOを「電鍵」で答えてもらいます。

<質問者>

「〇〇君はカレーが好きですか？」

<受講者>

「ビ〜〜〜」

<質問者>

「〇〇君はカレーが好きだってことがおじさんに伝わったぞ！」

簡単な仕組みで無線交信を行いました。ここで子供の中で気づきがあるはず。これを複雑化したものがスマホや地デジになることを伝えます。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P 8

無線（むせん）ってなに??

**無線交信（むせんこうしん）は
電波（でんぱ）をつかって
情報（じょうほう）をおくる**



8

今実験した、電波を使って情報（気持ち）を伝えたことが、無線交信の基本であることを伝えます。

P 9

無線交信の体験方法は??

たいけんうんようの ながれ

1. オリエンテーション
でんぱの じっけん ← イマココ
こうしん れんしゅう
2. こうしん たいけん
3. こうしんしょう ゲット
4. おわり
かんそうを おしえてね



9

ここでこの後の体験運用の流れを説明します。
最初に伝えないのは子供はきっと嫌になっちゃうからです。

交信練習と体験終了後に交信証がゲットできることを伝えます。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P10

交信(こうしん)トレーニング	
こうしんの 谷がれ ~ シナリオ サンプル ~	
有資格者A	「0000 こちらはJJ1YVV アマチュア無線の体験運用を希望している方が待機中です。お相手頂ける方コールください。どうぞ。」
相手方	「JJ1YVV、こちらは7K1B1B Calling You!」
有資格者A	「7K1B1B こちらはJJ1YVV、レポートは59、オペレータは888です。今から体験者に交代したいのですがよろしいでしょうか」
相手方	「JJ1YVV、こちらは7K1B1B、レポートは59、こちらのオペレータは山内です。体験者のお相手がさること、とても光栄です。もちろんどうぞ。」
有資格者A	「7K1B1B こちらはJJ1YVV、山内さんですね。では今から体験者に交代します」
きみ!	「えっと、 7K1B1B こちらはJJ1YVV、れぼーとは、 59 です。わたしの なまえは ●● です。どうぞ。」
相手方	「了解、JJ1YVV、こちらは7K1B1Bです。はじめまして、こちらからも、シグナルレポートをお送りします。私の名前をもう一度、お返しします。JJ1YVV、こちらは7K1B1Bです。どうぞ。」
きみ!	「 りょーかい 、 7K1B1B こちらはJJ1YVV、 59 のれぼーとありがとうございました。はじめて むせんで はなしています。すきな たべものは なんですか? どうぞ。」
相手方	「私の好きな食べ物はおカレーです。3ちゃん、とっても上手ですよ。ぜひ無線の免許取ってみてください。どうぞ。」
きみ!	「 りょーかい 、 やまうち さん、ありがとうございました。いまから おじさん さんにかかります。」
有資格者A	「7K1B1B、こちらはJJ1YVV、体験交信のお相手ありがとうございました。さようなら。」
相手方	「了解、JJ1YVV、こちらは7K1B1Bです。こちらこそありがとうございました。さようなら。」
引用元: 7K1B1B局ホームページ 10	

交信練習をします。

全体の流れと、体験者が発生する箇所を示しています。

ここで無線局にはコールサインがあり、とても大切な符号であることを教えます。

また会話のはじめと、おわりに「了解」「どうぞ」をいれることも伝えます。

P11

交信(こうしん)トレーニング	
いろもじを こえにだして よんでみよう!	
「えっと、 7K1B1B こちらはJJ1YVV。れぼーとは、 59 です。わたしの なまえは _____ です。どうぞ。」	
「 りょーかい 。 7K1B1B こちらはJJ1YVV。 59 のれぼーとありがとうございました。はじめて むせんで はなしています。すきな たべものは なんですか? どうぞ。」	
「 りょーかい 、 やまうち さん、ありがとうございました。いまから おじさん さんにかかります。」	
引用元: 7K1B1B局ホームページ 11	

体験者が発声する箇所だけにクローズアップしたページです。

実際に声に出して読んでもらいます。

なまえは和文通話表で言えるように練習してもらいます。



受付時に聞いた名前でホワイトボードに和文通話表を書き込んで教えると楽チンです

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<オリエンテーション 実施方法>

P 1 2

交信(こうしん)トレーニング
むせんきの つかいかた・しゃべりかた

スイッチをかくじつに
おしてからしゃべろう

マイクのきょりは
いっていに
おおきなこえで
はなすのが コツだぞ



12

無線機の使い方と話すときのコツを説明します。

半二重通信を知らない子供には新鮮な機械操作です。

マイクに向かってしゃべるときは大きな声を出すように伝えます。子供は声が小さくなる、口とマイクが離れる、傾向にあるのでしっかりとコツを教えます。

P 1 3

うまく交信(こうしん)して『体験証明書』をゲットしよう!

じゅんぴは いいかな？
それじゃあ
たいけんこうしん
スタート!!



13

体験運用環境によってはPTT
マイクの練習機も準備



それでは体験開始です。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

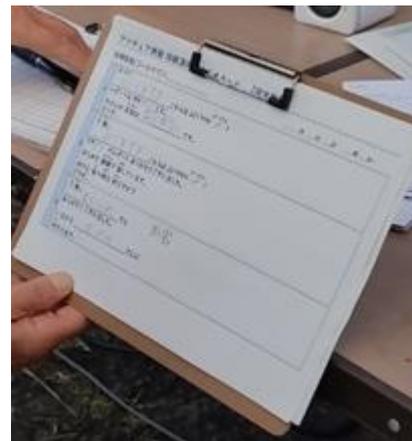
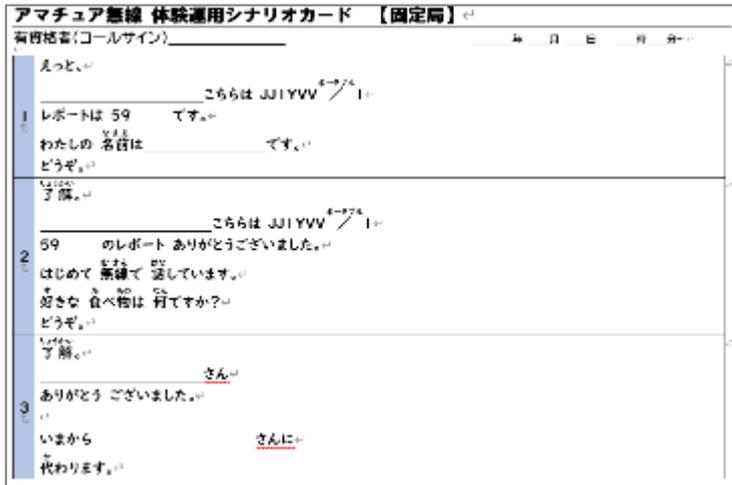
1-(3)-③体験交信の実践

<準備物>

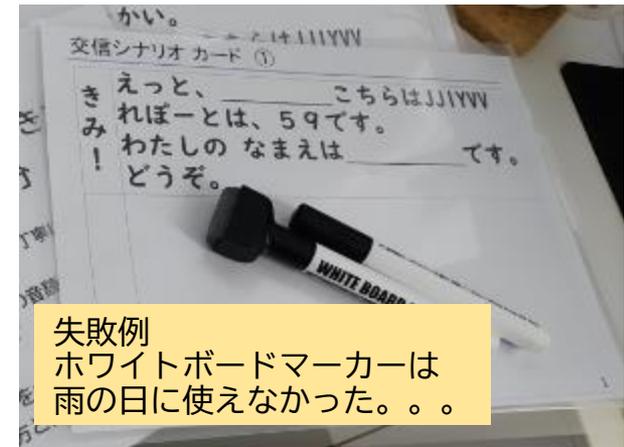
- 交信シナリオカード
- 和文通話表
- ホワイトボードマーカー（なまえを書いた和文通話表用）
- 交信相手（タイミング次第でサクラ局）※FMモード推奨
- 体験運用専用QSL（更新後、体験者にサインをもらう）
- 有資格オペレーター以外のサポーター1名

シナリオカードを見せながら交信します
（交信練習の時と同じ内容です）

シナリオカードを複数枚準備
してバインダーで指導します



当初、クリアフォルダに入れてホワイト
ボード用マーカーでコールサイン部分を書
き換えようと目論見ましたが、雨の日は表
面が湿って書けませんでした。。



失敗例
ホワイトボードマーカーは
雨の日に使えなかった。。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

<体験運用 実施方法>

- 普通にCQを出す*
- 交信相手が見つかったら通常通りのQSOを行う
- 交信体験者の準備が整ったら（オリエンテーションが終了して待機状態になったら）交信相手局に「体験運用」の実施許可を得る。OKであれば体験者に交代 ※具体的には交信シナリオに記載、参照
- シナリオカードと和文通話表（なまえを書いたホワイトボード）を指差ししながら交信をサポートする

*「体験運用実施中」と言いながらCQを出すべきか、言わないべきか、当クラブでも模索中です

★重要★ 交信シナリオ 【有資格者・サポーター・サクラ 要通読】

有資格者A	「CQOCQ こちらはJJ1YVW アマチュア無線の体験運用を希望している方が待機中です。お相手頂ける方コールください。どうぞ!」
相手方	「JJ1YVW. こちらは7K1B1B Calling You!」
有資格者A	「7K1B1B こちらはJJ1YVW. レポートは59、オペレータは※※です。今から体験者に交代したいのですがよろしいでしょうか」
相手方	「JJ1YVW. こちらは7K1B1B. レポートは59、こちらのオペレータは山内です。体験者のお相手ができること、とても光栄です。もちろんどうぞ。」
有資格者A	「7K1B1B こちらはJJ1YVW. 山内さんですね。では今から体験者に交代します」
きみ!	「えっと、7K1B1B こちらはJJ1YVW. れぽーとは、59です。わたしの なまえは●●です。どうぞ。」
相手方	「了解。JJ1YVW. こちらは7K1B1Bです。はじめまして。こちらからも、シグナルレポート59をお送りします。私の名前はやまうちです。お返しします。JJ1YVW. こちらは7K1B1Bです。どうぞ。」
きみ!	「りょーかい、7K1B1B こちらはJJ1YVW. 59のれぽーと ありがとうございます。はじめて めせんで はなしています。すきな たべものは なんですか? どうぞ。」
相手方	「私の好きな食べ物はおカレーです。Bさん、とっても上手ですよ。ぜひ無線の免許取ってみてください。どうぞ。」
きみ!	「りょーかい、やまうちさん、ありがとうございます。いまから ※※さんにかわります。」
有資格者A	「7K1B1B こちらはJJ1YVW. 体験交信のお相手ありがとうございました。さようなら。」
相手方	「了解。JJ1YVW. こちらは7K1B1Bです。こちらこそありがとうございました。さようなら。」

★重要★ 体験運用者・有資格者のルール 【総務省 電波利用ホームページより引用】

体験者向け「3つのルール」

1. アマチュア無線家の方が立ち会って、体験者が教えてもらいながらアマチュア無線の操作をします。（モールス符号による通信はできません。）
2. 交信の始まりと終わりの操作は、アマチュア無線家の方がします。
3. その他にもルールがあります。アマチュア無線家の方の指示を守って交信体験を楽しんでください。

アマチュア無線家向け「7つのルール」

1. ご自身が開設または構成員となっているアマチュア無線局を使用すること。
2. アマチュア無線家の方の監督（指揮・立会い）の下で、体験者（無資格者）が無線設備の操作を行うものであること。
3. 科学技術に対する理解と関心を深めることを目的として、一時的に行われるものであること。
4. 監督するアマチュア無線家の方が行うことができる無線設備の操作の範囲内であること。モールス符号による通信操作の交信体験はできません。
5. 連絡の設定及び終了に関する通信操作は、アマチュア無線家の方が行うこと。
6. 体験者は、電波法又は放送法の法令違反者でないこと。
7. 監督するアマチュア無線家の方は、体験者が無線技術に対する理解と関心を深めることとし、無線設備の操作に関する知識及び技能を習得できるよう、適切な働きかけに努めること。

Ⅲ 運用詳細 体験運用

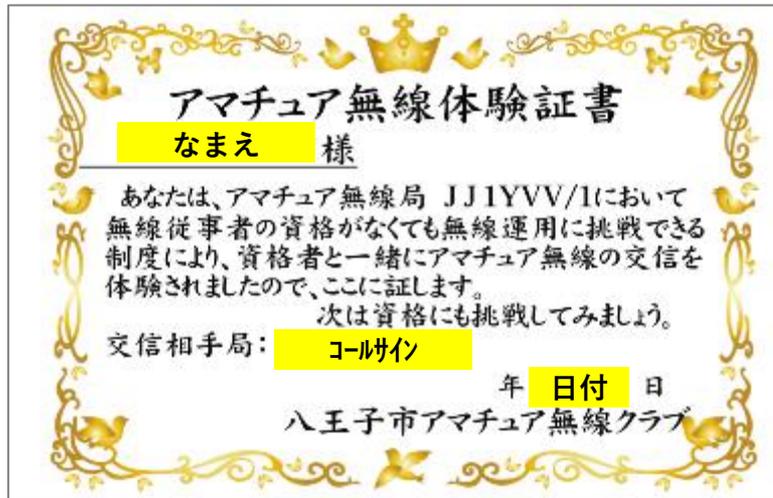
1-(3)-④ 交信証手交・Q S Lカード

<準備物>

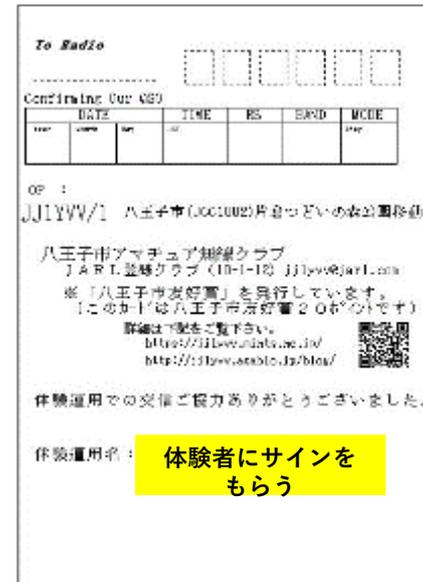
- ・アマチュア無線体験証書
- ・体験運用用Q S Lカード

<実施方法>

- ・交信後に手交する「アマチュア無線体験証書」を準備しておく
- ・交信後、体験者に体験運用用Q S Lカードへ署名してもらう
- ・「アマチュア無線体験証書」を手交。ここで交信体験の感想とその理由を聞いておく
- ・最後に忘れ物がないかチェックして73



交信体験の証書
チャレンジする気
持を醸成するた
め少しだけ上から
目線の表現にして
います。



交信相手局には体
験者のサイン入り
Q S Lカードが届
きます！

2. FMラジオ工作

2-(1) 目指すこと

- ・ ラジオ工作体験を通じてラジオづくりの面白さ、普段は何気ないラジオを通して電波の不思議さを感じてもらえること
- ・ 指導者の注意事項を聞いてモノづくりができること
- ・ アマチュア無線体験運用に誘導し、受信と送信の双方を体験し立体的に電波について体感できること

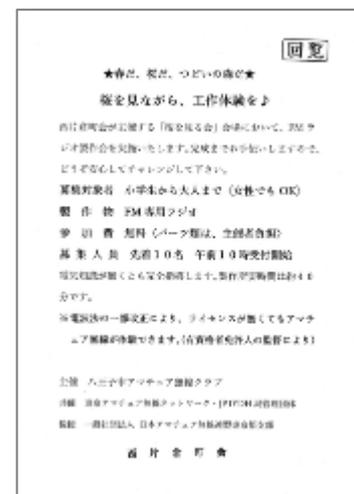
※体験運用とラジオ工作のセット化により集客力UP、電波の立体的体感が期待できる。予算や運営メンバー数が足りない場合もあり

2-(2) FMラジオ工作の流れ

<基本> 約15分

工具の使い方、やけどの危険性があることを十分伝える →ものづくり開始
→通電・完成 →ケースとイヤフォン選択
→作ったラジオ、ケース、イヤフォン進呈

西片倉町
内会回覧
で流れた
工作体験
案内



Ⅲ 運用詳細 FMラジオ工作

2-(3) FMラジオ工作体験詳細

<準備物>

- ・ラジオキット
- ・半田ごて、半田ごて台
- ・ケース、電池、イヤフォン（100円ショップのもの）
- ・工具類（ニッパ、ラジオペンチ、テスター・・・etc）

<実施方法>

- ・製作前に半田ごてはとっても熱いので金属部は絶対触ってはダメであることを教える
- ・はんだ付け方法を教える
- ・あとは日ごろの工作技術で丁寧に教える

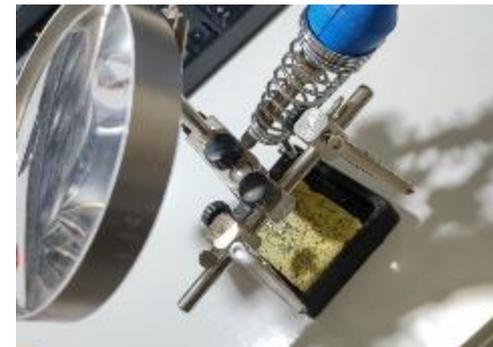
100均ケースに無造作に入れて渡すだけですが、ケース付きはうれしい



主要部品ははんだ付け済
タクトスイッチ5個、イヤフォンジャック、
電池ケースをはんだ付けするだけ
これだけでも完成すると笑顔がこぼれる



やけど防止、作業効率向上のため
半田ごて台も用意



IV 体験運用 役割分担

430FMの体験運用を実施した場合の役割分担（メンバー最大参加）

No.	役割名称	作業内容	備考
1	受付	<ul style="list-style-type: none">・受付票記入、記入方法説明・体験者和文通話表HB記入・体験カード記入、手交・感想ヒアリング	
2	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション、無線実験実演・呼び込み手伝い・アマチュア無線、展示物説明・和文通話表指導	
3	交信オペレーター	<ul style="list-style-type: none">・CQ出す・交信体験、交信指導・ログ記入	
4	交信サポーター	<ul style="list-style-type: none">・シナリオカードへコールサイン、名前、時間を記入・シナリオカード出し・QSLカードサイン・交信相手局探し（サクラ等）	
5	サクラ局	<ul style="list-style-type: none">・交信相手不在時フォロー	兼任不可
6	呼び子	<ul style="list-style-type: none">・呼び込み・講習会説明、YVV宣伝・各種パンフ、記念品渡し・写真撮影（撮影可否確認）・アマチュア無線、展示物説明	
7	全体調整	<ul style="list-style-type: none">・緊急時、滞留発生時、休憩ローテなど調整	兼任

2回の体験運用により小学生を中心に合計21名が本物のQSOを無事に体験した。

いくつかの課題、改善点があるものの、①多くの子供たちに興味、関心をもって体験運用を受け入れてもらえたこと、②制度趣旨に沿った体験運用スタイルを確立できたこと、から当初の目的は達成できたといえる。また多くのクラブ員の参加、交信相手局の理解、関係者の協力が成功の鍵でもあった。

<反省と今後の課題>

1回目：3/25体験運用 2回目：4/1体験運用

区分		反省内容	改善点・今後の課題
体験運用	1回目から2回目にかけての改善点	<ul style="list-style-type: none"> 参加者情報(年齢、参加理由等)を受付票に追加 ログに体験者名を残す QSLカードに体験者サインを入れる シナリオカードを3枚→1枚にまとめる HF帯のSSBは避ける(子供はゴニョゴニョ変調になるので相手局が聞き取れない) 	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離交信(HF)にチャレンジさせたい 例) 実例あり HFによる他の体験運用局とのスケジュールQSO
	2回目反省点	<ul style="list-style-type: none"> 連続指導はしんどい 未就学児はしんどい(兄弟で参加) シナリオカードの「VV」を「W」と読む 	<ul style="list-style-type: none"> 体験運用時間帯を決める 未就学生向け専用シナリオ シナリオフォント見直し
FMラジオ工作体験反省点		<ul style="list-style-type: none"> 半田ごてを触ってしまいヤケド(1名) 希望者が一気に来てしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ヤケド対策 午前午後に分ける
全体を通じた反省点		<ul style="list-style-type: none"> 体験が終わってからの感想ヒアリング 写真がどの人がわからなくなる お土産を渡せなかった 交信相手を探すのが大変 	<ul style="list-style-type: none"> 感想アンケート 撮影係、役割分担 スケジュールQSO、体験運用日時、周波数モードの情報共有

1. 参加者数

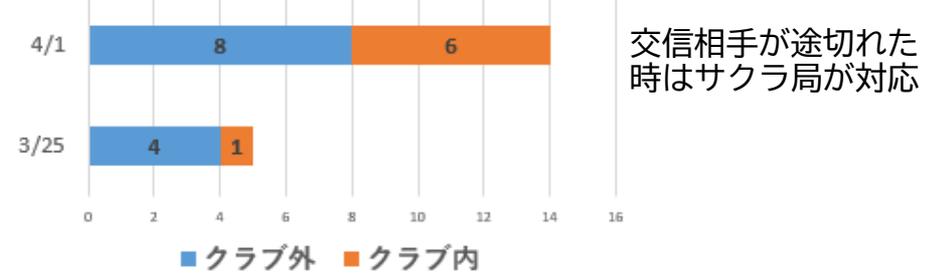
(人)

区分／実施日	3/25	4/1	計
体験運用	7	14	21
FMラジオ工作	5	11	16
計	12	25	37

※3/25は雨のためイベント自体の参加者が少なかった

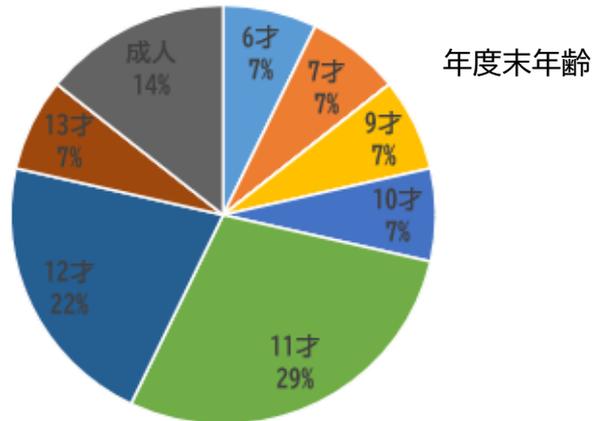
※3/25体験運用のうち2交信がどの局と交信相手であったか分からなくなってしまったため、他の資料の交信数と数が合っていない。

2. 交信相手 クラブ内・外



クラブ員が自宅からサクラ局として支援したケースあり (とても助かる)
東京都でも サクラ局の支援は不可欠

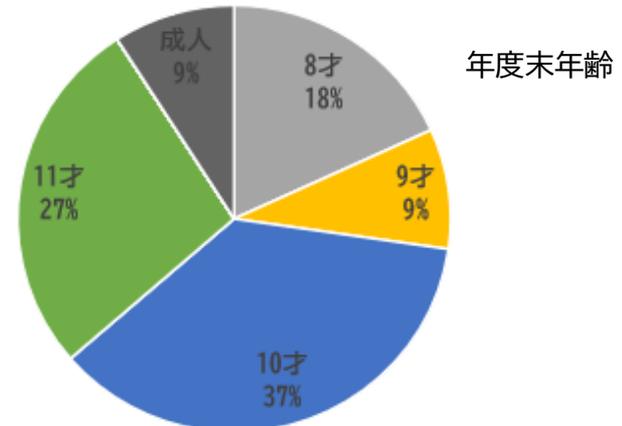
3. 体験運用 年齢構成 (4/1実施)



■ 6才 ■ 7才 ■ 8才 ■ 9才 ■ 10才 ■ 11才 ■ 12才 ■ 13才 ■ 成人

小学校5年、6年で半数を占める
簡単な漢字記載なら問題ない

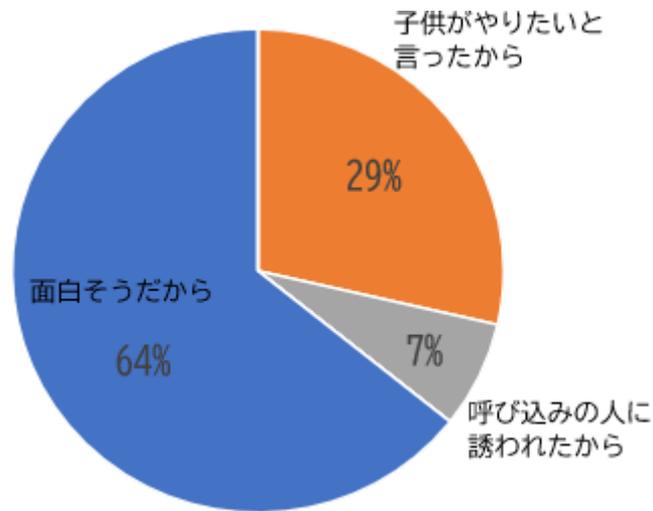
4. FMラジオ工作 年齢構成 (4/1実施)



■ 6才 ■ 7才 ■ 8才 ■ 9才 ■ 10才 ■ 11才 ■ 12才 ■ 13才 ■ 成人

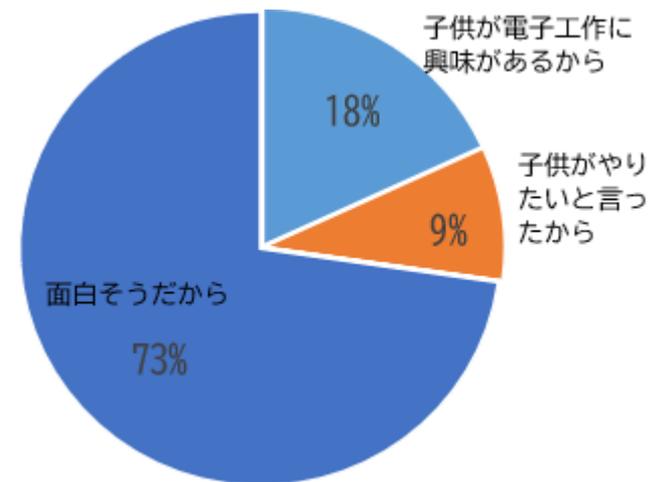
小学校4年、5年で6割以上を占める

5. 体験運用 参加理由 (4/1実施)



「面白そう」「子供がやりたい」で9割以上を占める

6. FMラジオ工作 参加理由 (4/1実施)

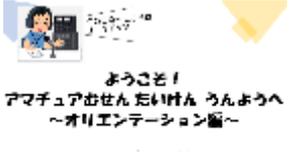
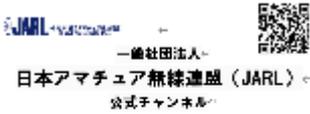


- ・「面白そう」「子供がやりたい」で約8割
- ・子供が電子工作に興味があるからが2割(2名)もいた

➡ **参加率UPには興味を引く会場づくりが重要**

選択肢
※受付時に親御さん
もしくは本人が記入

1. 子供が電子工作に興味がある
2. 子供がやりたいと言ったから
3. 呼び込みの人に誘われたから
4. 興味があったので
5. 面白そうだから
6. その他

内容・イメージ画像	ファイル
体験運用シナリオカード 	 シナリオカード
体験運用オリエンテーション資料 	 体験運用オリエンテーション
受付票 	  受付票_体験運用 受付票_ラジオ工作
交信証・QSL (画像データのみ)  	—
看板 A4  	  看板_体験運用 JARL広報

VI 資料 会場づくり

雨の中のテント設営
寒さ、雨対策で周囲にビニールを巻いた



ビニールのおかげで凍えることなくFM
ラジオ工作ができた



JARLの公式ビデオ再生 (Youtube)、JARLから送付して
もらった各種パンフレット、講習会案内、CQ誌など



のぼり旗、移動運用のアンテナ、手作り看板、地元八王子市の竹を使ったお土産な
どで会場づくり。魅力的な会場づくりのブラッシュアップは今後の課題・・・

体験運用に備え、雨に濡れたビニール
シート、テントの乾燥作業
(影の努力、お疲れ様です)



体験運用



オリエンテー
ションでコール
サインの読み上
げ練習



VI 資料 体験運用制度

ワイヤレス人材育成のためのアマチュア無線の活用等に係る制度改正について①
総務省総合通信基盤局電波部移動通信課 より引用

アマチュア無線の交信体験制度（体験運用）

資料2

- アマチュア無線や電波の楽しさ・大切さ・使う責任を知る・学ぶ体験機会を拡大するため、アマチュア局の免許人の責任をより明確化した上で、**アマチュア無線有資格者(無線従事者)の監督の下で無資格者(体験者)がアマチュア無線を体験できるようにします。**
- 科学技術やワイヤレス技術に対する理解と関心を深めるとともに、アマチュア無線や電波に興味・関心をもってもらうことにつながり、ワイヤレス人材育成の裾野が広がります。

○アマチュア無線の交信体験（体験運用）の例



○体験者の方にお伝えする交信体験3つのルール

1. アマチュア無線家の方が立ち会って、教えてもらいながらアマチュア無線の操作をします。（モールス符号による通信はできません。）
2. 交信の始まりと終わりの操作は、アマチュア無線家の方がします。
3. その他にもルールがあります。アマチュア無線家の方の指示を守って交信体験を楽しんでください。

※既に開設しているアマチュア局であれば、手続は必要ありません。
※体験者の方の年齢制限はありません。
※アマチュア無線家の方と体験者の方の人間関係の制限(親子や先生と生徒など)はありません。



アマチュア無線家向け 交信体験（体験運用）7つのルール

- ①ご自身が開設または構成員となっているアマチュア無線局を使用すること。
- ②アマチュア無線家の方の監督（指揮・立会い）の下で、体験者（無資格者）が無線設備の操作を行うものであること。
- ③科学技術に対する理解と関心を深めることを目的として、一時的に行われるものであること。
- ④監督するアマチュア無線家の方が行うことができる無線設備の操作の範囲内であること。モールス符号による通信操作の交信体験はできません。
- ⑤連絡の設定及び終了に関する通信操作は、アマチュア無線家の方が行うこと。
- ⑥体験者は、電波法又は放送法の法令違反者でないこと。
- ⑦監督するアマチュア無線家の方は、体験者が無線技術に対する理解と関心を深めるとともに、無線設備の操作に関する知識及び技能を習得できるよう、適切な働きかけに努めること。

体験者の方にアマチュア無線を楽しんでいただきましょう！

※アマチュア無線家：アマチュア無線局免許人(無線従事者)のことです。

VI 資料 八王子友好賞規約見直し

八王子市AMCでは「体験運用」を応援し、当クラブが行っている「八王子市友好賞規約」に体験運用局との交信ポイントを2倍とする規約見直しを、下記の通り行います。

<規約追加見直し部分>

1. ルール

- (キ) 2023年3月22日に電波法施行規則等の一部を改正の「ワイヤレス人材育成のためのアマチュア無線の活用等に係る制度改正」による体験運用局との交信は、ポイントを2倍にします。なお、交信は2023年3月22日から有効です。
体験運用局との交信は、「体験運用者/ハンドル名」と明記してください。ハンドル名が異なれば、日付・バンド・モードが同じでも、別々に計上できます。音声による交信（FM、SSB、AM）が有効です。

7. その他

(カ) 記入例、ポイントの加算について

④ 体験運用局

JJ1YVW/1 八王子移動/体験運用者/シン430MHz FM(20ポイント) ※1
JJ1YVW/1 八王子移動/体験運用者/ヒロ430MHz FM(20ポイント)
JJ1YVW/1 八王子移動/体験運用者/ヒロ430MHz SSB(20ポイント)
7L3N00 メンバー局/体験運用者/ナオ430MHz FM(10ポイント)
7L3N00 メンバー局/体験運用者/マリ430MHz FM(10ポイント)
JA8QRP/1 八王子市居住/体験運用者/シンジ 7MHz SSB(2ポイント)

それぞれのポイントを加算して 82ポイント

体験運用の局との交信は、ポイントが2倍になります

体験運用での交信では、コールサインに体験運用者のハンドル名でコールサインに相当します。

※1では、「JJ1YVWシン」がコールサインとして考えます。ハンドル名は同じものが使われることもあり、日付が異なれば、重複としません。



八王子友好賞_230
408

改正日 2023年4月8日

※ただし交信は2023年3月22日より有効

VII その他

JARLへの期待

次世代のアマチュア無線人材、その先のワイヤレス人材の輩出には、青少年に対するアマチュア無線局の体験運用が、アマチュア無線を楽しみながら行う教育環境の一つとして、定着させていくことが欠かせません。この教育環境の定着は、多くのアマチュア無線局が今般の制度改正に注目しているこのタイミングを逃さず、醸成していくことが大切です。

青少年に対するアマチュア無線体験運用の活動の中心は各クラブ団体や有志が担うこととなる一方で、アマチュア無線を代表する唯一の団体であるJARLはその活動を支援し、その両輪が働くことで、制度趣旨に沿った体験運用の早期定着化が図れると考えます。

- 体験運用制度の趣旨に沿った円滑な運用体験の仕掛けづくり
- 早期に各団体の体験運用の集合知を共有する仕組みの実現
- 全てのアマチュア無線局への体験運用制度の積極的啓発

以 上